

〔生活経済部 交通防災課 所管〕

02010201 交通安全対策事業

予算書P. 44

(単位: 千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	6,187	4,174	2,013	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	112	120	△ 8	県民交通災害共済加入推進費
一般財源	6,075	4,054	2,021	

【背景(なぜ始めたのか)】

増加する交通事故に対して、自治体でも交通事故の発生を抑止するため、関係団体と連携・協力して交通安全意識の普及・浸透活動を行い、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの向上を図るため実施している。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

市民に対して、交通安全の啓発事業を行うことで、市民の交通安全の意識の高揚と交通マナーの習慣付けを行い、交通事故発生の抑制を図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

警察と関係団体による街頭キャンペーン(年4回)の実施と幼稚園や小学校での交通安全教室の開催、交通指導隊による街頭立哨等を行う。



交通安全街頭キャンペーン



交通安全教室

02010204 自転車駐車場維持管理事業

予算書P. 44

(単位: 千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	472	742	△ 270	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	1	1	0	自転車駐車場施設行政財産使用料
一般財源	471	741	△ 270	

【背景(なぜ始めたのか)】

新守谷自転車駐車場及び南守谷自転車駐車場を設置したため開始した。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

「守谷市自転車駐車場設置及び管理に関する条例」及び「守谷市自転車等の放置の防止及び自転車駐車場の整備に関する条例」に基づき、新守谷自転車駐車場及び南守谷自転車駐車場の適切な管理運営を図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

新守谷自転車駐車場、南守谷自転車駐車場について、定期的な駐輪指導を行い適切な維持管理に努める。



新守谷自転車駐車場



南守谷自転車駐車場

02010205 放置自転車対策事業

予算書P. 45

(単位: 千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	3,415	3,310	105	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	60	10	50	放置自転車移動保管手数料
一般財源	3,355	3,300	55	

【背景(なぜ始めたのか)】

つくばエクスプレスの開通により、駅周辺の歩道に駅利用者による放置自転車が増加し、歩行者の通行に支障を来したことから開始した。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

歩行者の通行の安全を確保し、放置自転車の削減を図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

守谷市シルバー人材センターへの業務委託により、駅周辺の自転車放置整理区域内の駐輪指導や啓発活動を行う。また、放置自転車には警告票の貼付や一時保管場所への移動を行い、駅周辺の歩行者の安全確保を図る。



放置自転車への警告票貼付



一時保管場所に移動した放置自転車

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	4,626	4,921	△ 295	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	4,500	4,921	△ 421	交通安全対策特別交付金
一般財源	126	0	126	

【背景(なぜ始めたのか)】

交通事故の減少を目指して、交通安全施設の整備と維持管理を実施している。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

交通事故を未然に防止するため、交通安全施設の危険箇所への整備と適切な維持管理を行い、歩行者や通行車両の安全確保を図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

市民や自治会等からの要望や連絡、警察との協議により、カーブミラーや路面標示等の交通安全施設の設置と修繕を行う。



カーブミラー



注意喚起の路面標示

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	12,741	14,766	△ 2,025	
国庫支出金	3,816	0	3,816	社会資本整備総合交付金(都市防災)
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	8,925	14,766	△ 5,841	

【背景(なぜ始めたのか)】

過去の震災(阪神淡路大震災・東日本大震災等)等を受け、災害時における避難者の応急対策を迅速に行い、被害の軽減を図るため実施している。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

防災資機材を20箇所の防災倉庫に整備し、非常用食糧等の備蓄品の購入や入れ替えについて適正に管理し、災害時の被害軽減と避難者の負担軽減を図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

防災倉庫に保管されている粉ミルク・発電機用燃料・保存水・浄水器用消耗品の更新及び非常用防災井戸（13箇所）の水質検査を行う。

また、平成30年12月に新たに開智望小学校と指定避難所の協定を締結したことに伴い、防災倉庫の建設と資機材等を整備する。



防災倉庫



浄水器



発電機用燃料



保存水



粉ミルク(アレルギー対応)



防災井戸(手押し式)

02011004 防災システム関係維持管理事業

予算書P. 58

(単位：千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	7,311	14,325	△ 7,014	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	2,401	2,401	0	茨城県市町村振興協会市町村交付金
一般財源	4,910	11,924	△ 7,014	

【背景(なぜ始めたのか)】

災害時の市民の生命・財産を守るために必要な情報収集及び伝達機器として導入している。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

Jアラート及びエリアメールを利用し、テロや気象情報、地震等の災害による緊急情報を市民に瞬時に発信するとともに、気象観測システムPOTTEKAにより降雨量等について現状把握と予測を行い災害に備える。

また、災害時に罹災証明書等を交付するための「被災者生活再建支援システム」の整備や管理運営、研修会等を実施する。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

災害時等に適正に運用するために、防災システム関係機器（県防災情報ネットワークシステム・気象観測システムPOT EKA・Jアラート・エリアメール・MCA無線・被災者生活再建支援システム等）の保守点検等の維持管理を行う。



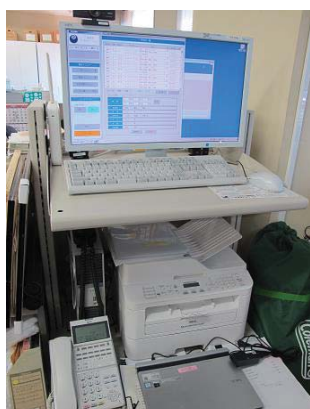
エリアメール/Jアラート



MCA無線(半固定)



MCA無線(携帯型)



茨城県防災システム



超高密度気象観測システム
(POTEKA)

02011006 地域防災訓練活動育成事業

予算書P. 59

(単位: 千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	4,838	2,769	2,069	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	15	△ 15	
地方債	0	0	0	
その他	4,300	2,754	1,546	協働のまちづくり基金繰入金【ふるさとづくり寄附】
一般財源	538	0	538	

【背景(なぜ始めたのか)】

災害対策基本法第5条第2項及び第48条により、災害に備えた組織づくりの充実と防災訓練の実施が義務付けられている。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

災害時の初動対応や避難体制の強化を図るため、自主防災組織の結成を促進させ、発災対応型防災訓練を実施し、災害時における被害の軽減を図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

自主防災組織活動育成補助事業により、自主防災組織の結成時や資機材整備時に補助を行うことにより、組織の結成促進と育成強化を図る。

- ・結成事業補助10万円×3団体、・資機材整備事業補助20万円×3団体、・資機材更新事業補助10万円×21団体
- ・防災士育成事業補助3万円×3人、・資機材整備（コミュニティ助成事業）1,300千円

また、発災対応型防災訓練の実施について指導やアドバイスを行うとともに、専門家による防災講演会を実施する。



市災害対策本部設置訓練



防災講演会



自主防災組織活動育成補助
事業による資機材整備



地域での発災対応型防災訓練

02070501 防犯対策事業

予算書P. 87

(単位：千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	15,441	12,410	3,031	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	15,441	12,410	3,031	

【背景(なぜ始めたのか)】

犯罪抑止環境の構築を目指して、行政・警察及び防犯関係団体が一体となって活動を開始した。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

市民の生命・財産を守るため、警察や防犯関係団体と連携した市内パトロールや啓発活動を行い、犯罪の未然防止と防犯意識の高揚を図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

防犯指導員(警察官OB)を引き続き任用し、青色防犯パトロール、防犯講座、自治会や防犯団体による地域パトロール活動の指導、育成等の助言を行う。

防犯連絡員による防犯パトロール、防犯啓発キャンペーン等を継続的に実施する。

安全で安心できる地域社会を築くため、引き続き「地域安全・暴力追放市民大会」を開催し、市民一人ひとりの防犯意識の高揚を図る。

警察や防犯関係団体(防犯連絡員協議会、防犯パトロール隊等)と連携し、防犯情報の発信・共有(Morinfo, メールもりや等のSNS活用)を図り、市民の安全安心を確保する。

市内全域に設置されている防犯カメラ及び公用車に設置しているドライブレコーダーを効果的に活用し、犯罪抑止環境の強化に努める。



ショッピングモールでのパトロール



防犯連絡員による啓発キャンペーン

02070504 街路灯整備管理事業

予算書P. 88

(単位：千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	63,646	79,296	△ 15,650	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	63,646	79,296	△ 15,650	

【背景(なぜ始めたのか)】

夜間の犯罪被害防止・犯行抑止及び都市化に伴う交通量の増加に対応するため、交差点等の交通危険箇所対策として事業を開始した。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

防犯灯や街路灯(公園灯・遊歩道灯、道路照明灯、駅前街路灯)を整備し、維持・管理することで、夜間の犯罪発生防止と交通安全の確保を図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

防犯灯は、区長要望等により新設する。

公園・遊歩道灯(分電盤含む)は、器具やポールの劣化が進んでいるものについて、LED化改修工事を実施する。

道路照明灯は、交通事故発生箇所等への新設、劣化が進んでいるものについてLED化改修工事を実施する。



LED道路照明灯



分電盤

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	35,252	42,298	△ 7,046	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	3,738	4,023	△ 285	消防団員退職報償金
一般財源	31,514	38,275	△ 6,761	

【背景(なぜ始めたのか)】

消防組織法第18条第1項に基づき、守谷市消防団条例が昭和39年5月19日施行されたことにより実施している。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

消防団員が災害時に備えた訓練と火災予防に関する啓発活動を行うことにより、市民の火災予防に対する意識の高揚を図り、生命・財産を守る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

消防団員は、災害から市民の生命・身体及び財産を保護し、被害の軽減を図るため、定期的な機器の点検、教育訓練、火災予防等の災害活動に必要な事業を行う。

- ・消防団員に対する年報酬、退職報償金及び訓練手当等の支給
- ・消防団活動用の装備品、消耗品等の購入
- ・各種教育訓練、消防学校入校及び操法大会への参加費
- ・各種負担金の納入



県南南部地区操法競技大会



消防出初式 分列行進



火災予防パレード



消防出初式 式典

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	4,354	2,085	2,269	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	4,354	2,085	2,269	

【背景(なぜ始めたのか)】

消防団が迅速かつ効率的な活動を行うため、消防車両や消防用可搬ポンプ等の維持管理を実施している。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

消防団に配備した消防車両や消防機械器具の維持管理を行い、災害時の緊急出動に備える。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

消防車両等の点検・整備を実施し、災害時における消防活動を迅速に行う。

- ・2箇月に1回、各分団ごとに車両と機械器具等の点検を実施する。
- ・本年度は、8台（指令車、広報車、第1・7・9・10・11・12分団）の消防車両の車検を実施する。



消防ポンプ付自動車／500リットル水槽



可搬ポンプ

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	5,963	3,969	1,994	
国庫支出金	0	0	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	4	4	0	消防施設行政財産使用料
一般財源	5,959	3,965	1,994	

【背景(なぜ始めたのか)】

消防施設の充実と火災発生時の速やかな消火活動を行うため、消火栓や消防用具格納箱等の整備・更新を実施している。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

消防施設の充実により、火災発生時における迅速な消火活動や人命救助のための環境整備を図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

消火栓用消防用具格納箱、防火水槽、AED等の整備・更新を行う。

- ・消防用具格納箱は、市民等からの要望により設置している。
- ・AED機器の維持管理を行う。(AEDパッドは2年、バッテリーは5年、本体は7年毎に更新)

また、本年度は、老朽化している消防団機械器具置場について更新のための設計業務(対象：第13分団)を実施する。



消火栓用消防用具格納箱



耐震性防火水槽



自動体外式除細動器(AED)



防火水槽標示板

09010401 排水樋管操作管理事業

予算書P. 181

(単位：千円)

	新年度	前年度	差	主な名称
事業費	1,807	1,767	40	
国庫支出金	1,145	1,120	25	樋管操作委託金
県支出金	0	0	0	
地方債	0	0	0	
その他	0	0	0	
一般財源	662	647	15	

【背景(なぜ始めたのか)】

河川法に基づき、国と市町村が業務委託契約を締結し、水害時に備えた点検や維持管理等を実施している。

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

集中豪雨等により洪水の危険性がある場合、市内の排水樋管に配置した操作員が樋管操作を行い、災害の未然防止を図る。

【内容(何の業務活動をどのような手法で行うか)】

市内5箇所（五反田・羽中・大野川・大山・赤法花樋管）の排水樋管に7名の操作員を配置し、定期的な保守・点検を実施するとともに、河川増水時には樋管操作を行う。

- ・毎月1回（出水期となる6～10月までは月2回）の定期点検を実施する。（年間17回）



大野排水樋管